

授業科目	診療補助技術Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1年次後期	1単位	講義	20時間
到達目標	1. 呼吸・循環を整える技術について理解する 2. 既習学習を基盤にしシミュレーション場面において判断と行動、振り返りができる					講師
						専任教員
授業計画						
1回	呼吸・循環の援助に必要な知識 末梢循環促進ケアの援助の基礎知識					
2回	呼吸・循環を整える技術 吸入、排痰ケアの援助の基礎知識					
3回	呼吸・循環を整える技術 吸引（一時的吸引・持続的吸引）の援助の基礎知識					
4回	呼吸・循環を整える技術 酸素吸入療法の援助の基礎知識					
5回	シミュレーション演習説明 目的と意義、演習方法、事例、事前学習と準備					
6回	呼吸・循環を整える技術練習 （体位ドレナージ、酸素吸入、口腔・鼻腔・気管内吸引、超音波ネブライザー）					
7～ 8回	呼吸・循環を整える技術、ジグソーによる技術指導 （体位ドレナージ、酸素吸入、口腔・鼻腔・気管内吸引、超音波ネブライザー）					
9～ 10回	シミュレーション演習 シミュレーションとデブリーフィングの実施と発表					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験（70%）、シミュレーションの振り返りレポート（20%）、事前学習等のポートフォリオ（10%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント インターメディカ					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては解剖生理を振り返り、必要な技術練習を行い臨むこと。					